

事業所名

ふたば

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

2025 年

1 月

8 日

法人（事業所）理念		ひとり、一人が主人公		
支援方針		支援を必要とするすべての子どもに福祉サービスが受けられるように努める。 本人および、ご家族の生活向上に資するように努める。		
営業時間		15 時 0 分から 18 時 0 分まで (休校日は、9 時 0 0 分 から 17 時 0 0 分まで)	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人 支援	健康・生活	○体を動かし、同年代の利用者と外出して、雨天等、難しい日は室内で遊具などを使って楽しく遊ぶ活動を行っている。 ○長期休暇（夏季休暇等）は、生活リズムを維持できるよう、一日活動日を実施して、学校がある時期と生活リズムが大きく崩れないよう支援している。 ○食事・排泄・衣服の着脱など、基本的な生活スキルが身につくように学校や家庭と連携しながらSST（ソーシャルスキルトレーニング）を無理のないように実施している。		
	運動・感覚	○屋外活動（公園の遊具をつかった活動）で体を使った遊びを体験している。 ○感覚遊びやプール遊びを通して、さまざまな感覚に慣れるよう支援を行っている。		
	認知・行動	○日々の活動を構造化し、自分が登所してから帰宅するまでの流れを理解し、大きな環境の変化で混乱しないように配慮している。 ○日課やグループをある程度固定化し、定着できるように配慮している。変化がある場合、事前に説明するなどの配慮を行っている。 ○必要に応じて自分の靴箱や鞆棚がわかりやすいよう写真や絵で理解できるように視覚支援を行っている。		
	言語 コミュニケーション	○保護者・本人のご希望でニーズがある場合、WISCIV・MSPAといったスクリーニングを行い、現在の語彙や意思疎通能力について、より詳細に把握することやどのような支援を要するかについて助言を行う。 ○日常の数名のグループ活動の中で、他の利用者との意思疎通の経験と語彙を獲得できるように支援を行っている。		
	人間関係 社会性	○日常的な活動中で、自分の気持ちの理解・相手の気持ちの理解・自分の行動で相手がどのような気持ちになるのか等、個々の成長の段階に応じて支援・ことばかけを行っている。 ○人間関係・社会性の能力や特性は個人差が大きいものの、子ども今の状態から、少しずつ活動を通して、社会性・協調性などを伸ばしていけるよう支援を行っている。		
家族支援		○家庭での支援の在り方について、随時、ご相談を受け支援を行っている。 ○相談の中で必要な場合は、通所以外の福祉サービスにつないでいる。	移行支援	○進学や転校で、必要な場合は移行シートを作成し、支援している。 ○移行に際し必要な場合、WISCやMSPAを実施し、進路選択の参考にしていただいている。
地域支援・地域連携		○学校と連携を図り、ニーズに応じて並行利用している放課後等デイサービスや学童（放課後児童クラブ）と連携を図っている。 ○南九州市自立支援協議会（こども部会）に参加し、連携を図っている。	職員の質の向上	○職員の年間研修計画に基づいて研修を実施している。 ○自己研鑽のための研修参加を奨励している。
主な行事等		○お弁当の日：定期的にお弁当の日を設け、終日遠方まで出かける等のレクリエーションを実施している。 ○その他、季節の行事（七夕・ハロウィン・クリスマス会・初詣等）を活動に取り入れている。		